

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童ディサービス「にじいろ」		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 英和8年3月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 英和8年3月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	英和8年3月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自然豊かな地域にあるため、外での活動を多く取り入れている	天気の良い日は、できるだけ地域の公園や神社などに出かけ、季節感を感じながら、粗大運動の機会を取り入れるようにしている	出かける先の、地名や歴史などを事前に学習し、自分が住んでいる地域への興味関心が深まるような取り組みにしていきたい
2	保育士経験、教員経験者が豊富なスタッフ多くいるため、多様な視点で子供を捉えることができる	スタッフ間の考え方のすり合わせや情報の共有を意識的に行うため、毎日スタッフミーティング行ってから支援を行うようにしている	一人ひとりの障害特性についての専門的知識の向上のための研修の機会を増やしていきたい
3	同じ法人内に、相談支援事業所、成人の通所事業所、グループホームがあり、場所も近いため、他の福祉サービスの利用がしやすい。	法人内で、児童の情報についても共有しており、緊急時の対応や体験利用などの受け入れがスムーズにできる体制にしている	保護者の皆さんにも通所事業所屋グループホームノ見学などをしていただく機会を設け、将来のイメージが持てるような取り組みを実子していきたい

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信が不足している	事業所の通信は毎月発行しているほか、法人HPでも子供たちの様子を発信しているが、充分とは言えない また毎日の連絡簿で、事業所での子どもの様子を毎回お伝えしているが、充分でないとのご意見がある	個人情報の保護に充分留意しながら、できるだけ情報発信を増やしていきたい 毎回のお子さんへの支援内容をわかりやすくお伝えできる連絡帳の工夫を行いたい
2	保護者同士の交流の機会が持てていない	両親とも就労しているご家庭が多いこと、スタッフの勤務時間などの問題から、日程調整をすることが難しい	卒業後の進路を検討する時期などに、福祉サービスの制度などの勉強会ノ機会を念い1回程度設けることを検討したい
3	地域との交流の機会が少ない	日常的に交流の場を設けることは時間的に難しい	地域の子育てサークルや親の会などの催しに積極的に交流を呼び掛けるなど、年に1回程度は交流の機会を作っていく